

入選	入選	入選	入選	佳作	佳作	佳作	佳作	佳作	ジュニア賞	ジュニア賞	あまがさき賞	あまがさき賞	(理事長賞) 三席	(教育長賞) 二席	(市長賞) 一席	審査結果
「また明日」手を振る友の笑顔見て明日が来るのが楽しみになる	信号に並びて待てる若者の髪をなびかす初夏の風	妹の逝きし春の日たそがれて悲しみの中ゆるるローソク	三月は母と私の生まれ月こしは一人で甘酒を飲む	夫逝きて粥炊く用も無き朝トースト一枚チンと焼けたり	青い空なつかしいのはなぜだろう見ていたからかおだやかになる	文字盤の大きな時計を喜びて母はこの頃私を拝む	試合前窓から空を見上げると月の光がそつとさしこむ	廃屋の外階段を上る猫黒い姿の见えては消えて	暑い夏ジュース吸ってるストローがこのまま暑さも吸ってほしいな	あたらしい前とはちがうたこ公園変わらないのは笑顔の数だけ	武庫川の風に背を受けペダル踏む工都の空に夕日やわらぐ	公害の患者看取りし医師達も青い空から子等を見守る	ありふれた手術をすればありふれた術後のくらし私の痛み	アキアカネ武庫の川原にむれなして涼風のなかみぎにひだりに	こぎ出せば背中に届く吾子の声「七夕カレーおいしかったん」	作品
榎元 愛姫	岡田 経子	村田 富子	長江 雅子	小野 さよ子	西川 空海	石井 良子	富松 怜奈	原田 時子	新川 旭	岩田 琴巳	小島 市香	宮崎 和子	日高 千佳子	田部 庫利	松井 あゆみ	名前

入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選	入選
見えますかあなたの好きなほおずきを抱えて歩む頼りなき足	たのしみは時間をはかり泳ぐこと昨日の自分超えていく時	夏の夜家で花火をしていると花火の音が聞こえてきたよ	言葉とは自由自在に変化する誰かを傷つけ誰かを守る	たのしみは元気に育った夏野菜をしゅうかくするのをてつだうとき	その昔工都の空は暗かったそこには英気も溢れてた	百年に十年足してわが町は文化と工業共に栄えり	陽の落ちて熱気こもれる我が町にインドカレー屋のスパイス香る	あの人と夕日の沈むあの道を歩くのはあと何回だろう	真っ青に染まった氷食べる夏オレンジ色の空を見ながら	墓じまい財布に眠る母の髪悩む己に何も語らず	梅雨明けにセーター干して聴かせたい鳴き初める蟬のこゑを父にも
三好 喜与子	服部 碧葉	豊田 菜月子	渡邊 蒼磨	岩田 駈	岸下 秀一	春田 優	大原 幸生	高見 莉子	新藤 勇仁	松下 悟朗	岡本 伸香